

**企業の脱炭素経営に向けた計画策定支援事業（見える化への取組支援）委託
落札者決定基準**

1 審査機関

審査及び評価については、公社が設置する「企業の脱炭素経営に向けた計画策定支援事業（見える化への取組支援）委託審査委員会」（以下「委員会」という。）において実施する。

2 契約事業者決定基準

(1) 契約事業者の決定方法

審査において次の各要件ア及びイに該当する者のうち、採点された総得点が最も高い者とする。

ただし、最高得点者が2社以上あるときは、くじ引きにより事業実施者を決定する。

ア 見積額が契約上限の範囲内であること。

イ 以下の各項目に該当しないこと。

(ア) 評価項目（中項目）に対する採点において、1つ以上「0点」がある場合

(イ) 提出が必須とされた資料を未提出の場合

(ウ) 提出された資料又は様式の内容に虚偽又は捏造が確認された場合

(2) 得点配分

150点を満点とする。

評価項目（大項目）及び配点は、次のとおりとする。

評価項目（大項目）	配点
事業計画、事業体制及び履行能力	60
脱炭素化支援等	90

(3) 審査及び採点

ア 審査は、委員会の各委員の総意をもって決する。

イ 各委員の審査の得点の上限は150点として、別紙「評価項目、評価の観点及び配点」に応じ得点を付与する。

ウ 各委員は、提案者によるプレゼンテーション、委員による審議及び必要に応じ提案内容に関するヒアリングを実施した上で、採点を行うものとする。

エ 各委員が採点した得点を合算したものを合計点とし、合計点が最も高い者を事業実施者として選定する。なお、事業者の決定が取り消された場合には、点数が次に高い提案者を事業実施者とする。

オ 委員長が必要と判断した場合は、審査の結果等について委員会の各委員と協議を行い、アからエまでに定める採点方法等について変更することができる。

3 評価基準

別紙「評価項目、評価の観点及び配点」の（1）から（5）について、委員会の各委員が次の6段階で評価する。

段階	内容	評点
A	優れている提案(記載)があり、具体性や根拠が十分にある	1.0×各評価項目配点
B	やや優れている提案(記載)があり、具体性や根拠がある	0.8×各評価項目配点
C	普通の提案	0.6×各評価項目配点
D	提案(記載)はあるがやや趣旨に合わない、または具体性や根拠が乏しい	0.4×各評価項目配点
E	提案(記載)はあるが、趣旨に合わない、または具体性や根拠がない	0.2×各評価項目配点
F	提案(記載)なし	0

企業の脱炭素経営に向けた計画策定支援事業（見える化への取組支援）委託

評価項目、評価の観点及び配点

評価項目 (大項目)	評価項目 (中項目)	No	評価の観点	配点
事業計画、実施体制及び履行能力	1 事業の企画等業務	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的を理解し、効率的に達成できる計画になっているか。 ・CO₂ 可視化システム等導入、人材育成、取組提案にいたるフローが明確になっているか。 ・支援対象中小企業300社の達成に向けて効果的、効率的な集客を行うための仕組みや体制が示され、かつ実現性の見込みがあるか。 	40
			<ul style="list-style-type: none"> ・過去に同様の業務を手掛けた実績があり、各支援を実行する際に関係各所との連絡、調整及び必要な資料作成など、事業を円滑に進行できる体制が構築できているか。 ・業務進捗状況に応じ、計画を迅速に見直し、再構築のうえ実行できる体制となっているか。 ・示された体制が、実施する業務内容及び期間に対し妥当であるか。 	15
			<ul style="list-style-type: none"> ・成果の広報やPRに効果的なウェブサイトを構築可能か。 ・ウェブサイトから円滑な支援申込や問合せが可能か。 ・ウェブサイトのデザインや内容等について、委託者との協議に対応できる体制を検討しているか。 	5
	2 都内中小企業の脱炭素化支援	2	<ul style="list-style-type: none"> ア. システム等を活用したCO₂排出量可視化支援 イ. CO₂排出量の算出・可視化等に関する人材育成支援 ウ. CO₂排出量削減に向けた具体的な取組提案の支援 	45
				45
				20
				20
	3 アンケート	7	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート項目は、支援に対する具体的な改善点やニーズを把握できるものになっているか。 ・回収率を上げるために工夫が示されているか。 ・回答しやすいように工夫がされているか。 	5